

研究推進全体計画

研究テーマ：子どもが語り合い 学び合う 授業の創造

(1) 研究テーマについて

本校では、長年にわたり児童の対話を通した学びに焦点を当て、児童の対話を促し深める教員の関わり方について研究を行ってきた。

昨年度は、「対話を通して自己を見つめる授業の創造」というテーマのもと、道徳科授業の充実に向けた工夫改善についての研究を深めた。授業の過程で生じる児童の学びを教員がどう受け止めるか、そして、どのように働きかけることが望ましいかについて考えることができた。なかでも児童の学びの様子を観察することで、児童の対話を促すための教師の意識、それに伴った児童の対話への意識が高まってきた。「児童の学び方」がキーワードとなる現在、本研究を通して教員の指導法だけでなく児童の学びの姿に注目することの意義を確かめることができた。

また児童の対話的な学びは学習指導要領にも記載され、これからの児童の学びの核となり得るものである。そこで本年度は昨年度までの研究を踏襲するとともに、他教科でも児童の学び方、対話に焦点を当てた授業作りについて検討することを目的とし、研究テーマを「子どもが語り合い 学び合う 授業の創造」とした。

(2) 研究の内容

対話を通した思考時間の創造を研究の中心課題とする。対話的な学びの在り方について考え、そのための教員のはたらきかけの在り方を検討するとともに、PDCAサイクルを基にした授業の改善や児童の変容について研究する。

(3) 方法

- ・一人年間2回の研究授業を行い、授業の実践、改善に繋げる。
- ・全体の授業研究会を3回設定（各学団1回）する（外部講師の招聘可）。
- ・全体研以外は学団での研究会（各学団5回 計15回）を行う。

P 授業計画

- ・子どもが語り合い、学び合う授業について検討し、授業計画（教科・領域・時期・方法 等）を作成する。 ⇒①研究授業計画表

D 授業実践（1回目）

- ・1学期（2学期）中に実施する。
- ・指導案は略案のみ作成（A4 1枚）。 ⇒②指導案（枠）
- ・児童の学びの様子の見取り ⇒③授業参観シート、④授業研レジュメ

C 学びの実態分析，授業改善

- ・ビデオ撮影した授業実践の映像データをもとに，児童の学びの様相と教員のはたらきかけについて分析する（教員の自己省察を主な目的とする）。
⇒⑤実践まとめシート
- ・上記を受けて，学団研究会，全体研究会を行う。 ⇒③授業参観シート
- ・2回目の授業実践を計画し，学習を進める。
- ・授業実践①を終えての課題の交流，共有，職員研修 ⇒講師招聘

A 授業実践（2回目）

- ・2学期（3学期）中に実施する。
- ・指導案を作成（A4 2枚）。 ⇒⑥指導案（枠）
- ・実践をまとめる。 ⇒実践まとめシート

<研究過程イメージ>

